

「平成二十四年のまとめ」

平成二十四年の世相を表す「今年の漢字」が「金」に決まり、日本漢字能力検定協会が今月の二十二日、京都の清水寺で発表しました。ロンドン五輪での史上最多のメダル獲得や、京都大学の山中伸弥教授のノーベル賞受賞、金環日食のほか、消費税増税論議などが理由に拳がったということです。

また、十六日には衆議院議員の総選挙が行われ、政権を担当する与野民主党が大敗し、自由民主党を中心とする新しい政府が誕生しようとしています。今の日本にとっては、経済の立て直し、尖閣諸島や竹島など領土の問題、沖縄県の嘉手納米軍基地移転の問題、社会保障制度と消費税増税の問題など、解決しなければならぬ問題が山積しています。新しい政府がどのようにこれらの問題を解決していくのか、未来を担う皆さんにとっても重要なことです。

さらに、全国の学校で「いじめ」が社会問題となりました。いじめを受けた人が、自ら命を絶つという最悪の事態が起きたからです。ある中学二年生は、同じクラスの半数以上から「死ぬ」「きもい」といわれたり、首を絞められたり、拳で腹を殴られたりしました。

一連のいじめ問題を受け、岡部中でも調査をしたところ、四月から今までにいじめを受けたことがある生徒が、三十一人もいました。もし、先ほど話したようなことが岡部中でもあったらどうでしょうか。首を絞めるや暴力は、暴行罪、傷害罪という犯罪です。絶対にあってはなりません。こういったいじめがある場合、岡部中では、どんな仕事よりも優先して、全部の先生方で、そのことを最優先して取り組みます。警察とも連携します。岡中のいじめ調査の中で、他にも気になることがあります。「いじめられている人を見たらどうするか」という質問に対して、八十五人も人が、「見て見ぬふりをする」と応え

ています。見て見ぬふりをするのは、いじめを認め、いじめている人を助けているのと同じ、つまり、いじめているのと同じになります。」「やめる」と言えないなら、先生に話す。親に話す。誰かに話す。さもないといじめは解消しません。私は、「こ」に在るどの生徒も、いじめがなく安全で安心して学校生活を送ることができるようになりたいのです。

次に、岡中にとっての平成二十四年はどうだったでしょうか。

今年、岡中教育ビジョンとして「志を持ち、ねばり強く取り組む生徒であれ！」を掲げ、取り組んでいます。学校全体で見ると、勉強や部活動などで、ねばり強く取り組んでいる姿が多く見られました。

また、三年目の取組である「岡中凡事徹底」については、まず、あいさつは、多くの生徒がよくできています。今後は、はっきりと相手に伝わるような元気なあいさつ、相手の顔を見てのあいさつ、その場に立ち止まってのあいさつなど、より質の高いあいさつにチャレンジしてみましよう。

次に姿勢については、多くの人がよくなっています。授業中の姿勢、今、体育館で話を聞く体育座りの姿勢など、常に注意し、よりよくしていきましょう。

そして、清掃については、無言清掃への取組など、質の高い取組ができています。

十二月に、生徒対象とした「学校生活アンケート」を実施しました。その中で、「岡部中学校が好きだ」という質問に対して、一年生は九十五%、二年生は九十一、六%、三年生は八十八、四%が好きと応えています。深谷市の目標は八十%ですから、どの学年も大変高いことが分かります。皆さんは、岡中のどんなところが好きですか。「ありがとう」の感謝の言葉が言える「も一年生が、九十六、九%、二年生が九十六、一%、三年生が九十七%と大変高くなってい

ます。岡中生徒の生活意識の高さを感じます。しかし、靴のかかと踏みなど、直していかねばならないことがあるのも事実です。

次に各学年ごとに見てみます。

一年生は、あいさつのとてもよくできる学年です。また、勉強や部活動に一生懸命取り組んでいます。

二年生は掃除がとてもよくできます。二年生からはじまった無言清掃は、今や学校全体に広がっています。おかげで廊下や教室、そして、校舎がきれいです。また、授業にも集中して取り組み、学力が伸びています。あいさつも大変よくできます。

三年生は、勉強のよくできる学年です。授業を見ると、多くの生徒が落ち着いて、集中して学習しています。だから学力も伸びているのです。

明日から十七日間は、冬季休業日となります。休みとはいえ、三年生にとっては、進路希望先を決定づける大切な十七日間です。受験生には、クリスマスやお正月はないものと思って、一日一日を受験勉強に充てなければなりません。勉強の苦しさから逃げ出したくなる時もあると思いますが、そんな弱い自分に打ち克って、目標とする学校へ入学するために努力していきましょう。成功の秘訣は、1%の素質と九十九%の努力です。

最後になりますが、交通事故やけが、病気には、ならないようになしましょう。そして、一月八日に心身ともに成長した皆さんに会えることを楽しみにしています。

以上で、二学期終業式の言葉といたします。

平成二十四年十二月二十一日

深谷市立岡部中学校長

大澤 誠一